

## 特集

ライターSの患者さんインタビュー④

### 「HPの質問コーナーはウソじやなかった」

奥歯が噛んでいても前歯は噛みあわなかったというMさんにお話しを伺いました。インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。全文はホームページをご覧ください。

◆矯正治療を始めようと思っただけは？

写真にうつった顔がすごかったからです(笑)。私は奥歯が噛んでいる時に前歯は噛み合わない開咬という症状だったので、それまで自分では前歯が閉じないだけで歯並びは悪くないと思っていました。それが20歳ぐらいで親知らずが生えてきてどんどん前方に歯を押し続けていきました。緩やかに進んでいったのでわからなかったんですが、その写真を見て歯並び悪いのかも！と気づきました。

◆医院探しはどのようにしましたか

家の近くということので場所は立川、平日は通えないので土日に診療のあるところをインターネットで探しました。ひるま矯正歯科は、ホームページに先生がきちんといろいろなことを書いていらつしやるし、真面目にやっていると印象を受けました。きちんと治療してくれそうということが決め手ですね。

◆スタッフの印象はいかがでしたか

院長先生の印象が良かったです。ホームページの質問コーナーを読んで、こういうのは書いているだけでウソじゃないのかなと疑っていたんですが(笑)、先生にお会いして話をしてみたら、とてもしっかりと説明をしてくださって、ああ、あれはウソじゃなかったんだと思いました。

◆矯正装置が入って不自由だったことはありませんか

治療中は、食べられないものが多いけど、食べにくいものが多いんです。装置に慣れてからは、ワイヤーにかを考えませんでした。海草とかペトリックつくものはダメですね。食べられるけど、恐ろしいことになっていたので口を開けられない！(笑) 一人で食べる時は挟み放題でガツガツ食べていました(笑)。

◆ひるま矯正歯科で治療をしてよかったですか

とてもよかったです。院長先生は信念があつていなと思います。歯医者さんは痛くなったら行くところでしたが、予防に力を入れていってほしいです。昔は歯医者さんに行きたくなかったけれど今は定期的に通おうと思つています。歯磨きもありとあらゆる歯ブラシを使って丁寧に磨くようになりました。

淡々と冷静に話すけれど内容がとても面白い。お友だちになりたいわ！と思つたMさんでした。(S)

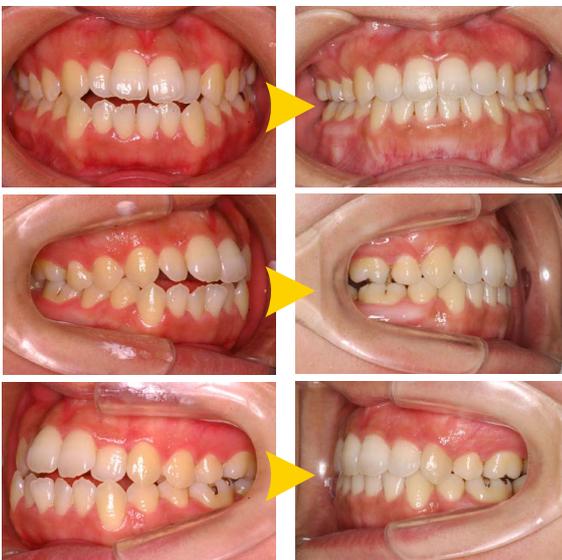


### Mさんの症状について解説します

●初診時の診断：「開咬合、両突歯列、叢生、右側偏位顎」

Mさんの骨格的な問題点は、上顎骨に対して下顎骨が後下方に位置しさらに右側に偏位していたこと、下顔面骨格(鼻の下から下顎の先まで)に対して軟組織が短く下顎先端オトガイ部の後退感も強い傾向を認めたこと。歯と歯並びの問題点は、下顎骨が後下方に位置している事から前歯部の開咬、下顎骨が右側に偏位している事から上顎歯列正中に対して下顎歯列正中が右側に偏位していたこと。また前歯部は叢生を伴いながら唇側へ傾斜しているため口唇が閉鎖しづらく閉鎖時のオトガイ部付近の緊張感によりいわゆる「梅干し」が出来、側貌において口唇の突出感が顕著でした。

そこで上下顎左右小臼歯及び親知らずの抜歯により前歯を後退させて叢生を改善するスペースを確保し、顎間ゴムにより開咬を改善する方針としました。治療期間は30ヵ月を想定。治療結果は、抜歯により叢生が改善され前歯が後退し口唇の突出感も改善。犬歯や前歯の位置を調整する事で上下歯列の正中もほぼ一致させる事が出来、29.9ヵ月で動的治療を終了しました。



<初診時>

<動的治療終了時>